

● 診療科の特色

1. 受診すべき科がわからないときに内科初診外来として専門科へつないでいます。
2. プライマリ・ケア領域の急性疾患については当科で診断治療させていただいています。
3. 科を越えて横断的な対応が必要な患者さんや診断がつかないまま症状が窮迫している患者さんの入院主科として治療や療養にあたっています。
4. 感染症内科と協力し適正な感染症治療の実現を目指しています。
5. 研修医の診療の基礎を築く手助けになるよう指導をこころがけています。

● 入院診療実績

1. 感染症入院患者数 329 名

	疾患	患者数
1	感染性肺炎	158
	誤嚥性肺炎	90
	COVID-19	27
	その他	41
2	尿路感染症	72
3	敗血症性ショック	22
4	化膿性脊椎炎/腸腰筋膿瘍	12
5	感染性心内膜炎	11
6	感染性腸炎	11
7	皮膚軟部組織感染症	8
8	その他	35

2. 非感染症入院患者数 196 名

	疾患	患者数
1	悪性腫瘍	16
2	電解質異常	16
3	膠原病	15
4	薬物中毒	8
5	アレルギー	8
6	脱水症	9
7	不明熱	3
8	その他	121
	整形外科疾患	34
	循環器系疾患	20
	脳神経系疾患	18
	代謝・内分泌系疾患	14
	呼吸器系疾患	13
	血液疾患	9
	消化器系疾患	8
	皮膚科疾患	3
	腎臓疾患	2

当科の入院患者は高齢者が大半で、誤嚥性肺炎や尿路感染症を含めた感染症が主病となっています。COVID-19 患者さんの診療にも対応いたしました。嚥下評価で経口摂取困難と判断され、今後の栄養についてケースワークを行い、胃瘻造設に至る症例もしばしばみられました。また、独居老人が救急搬送され帰宅困難でそのまま入院するケースが増えてきている印象です。様々な非感染性疾患にも対応しました。

● 研究業績

論文

- 1) 岩本佳隆、齋藤崇、野本英俊
症例①マラリア
総合診療,33,12,1427-1431,2023年12月15日

学会発表

- 1) 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)7例における予後の検討
市川 健
第120回 日本内科学会講演会 2023年4月16日
- 2) マイコプラズマ肺炎との鑑別を要した多系統炎症性症候群(MIS-A)の1例
谷口 もこ
第128回 日本内科学会中国地方会 2023年5月21日
- 3) 回盲部大腸腺腫が侵入門戸と考えられた Clostridium septicum による感染性大動脈瘤の1例
小西 祥平
第27回 日本病院総合診療医学会学術集会 2023年8月27日
- 4) 劇症型 A 群溶連菌による壊死性筋膜炎、敗血症性ショックに対して VA-ECMO を導入し救命できた1例
岩淵 愛央
第27回 日本病院総合診療医学会学術集会 2023年8月27日
- 5) Streptococcus gallolyticus による感染性心内膜炎に結腸病変を合併した2例
田中 美世
第129回 日本内科学会中国地方会 2023年10月21日
- 6) Candida albicans による両側結石性腎盂腎炎とカンジダ血症を呈した1例
古田口 唯
第129回 日本内科学会中国地方会 2023年10月21日
- 7) 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)患者に対する病理解剖の経験
常森 皓太
第129回 日本内科学会中国地方会 2023年10月21日

講演会

- 1) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する経口治療薬について～岡山医療センターでの経験から～
岩本 佳隆
御津医師会 学術講演会 2023年6月29日
- 2) 5類感染症移行後の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の現状について
岩本 佳隆
太田病院 院内感染対策研修会 2023年9月12日
- 3) 新型コロナウイルス感染症対策の現状と今後
岩本 佳隆
吉永病院 院内感染対策研修会 2023年12月1日